

第124号

令和7年1月発行
放送大学京都学習センター

TEL : 075-371-3001

FAX : 075-371-3033

ゆりかもめ

「ゆりかもめ」の由来

ゆりかもめは「伊勢物語」では“都鳥”と詠われ
京の都を思い出させる響きとなっています。
ゆりかもめが冬の京都の風物詩として親しまれているように
京都学習センターの機関誌も皆さんに親しんでいただけるよう
「ゆりかもめ」と名付けられています。

2月・3月・4月の特別講義・・・・・・・・・・2

面接授業について・・・・・・・・・・5

2月・3月・4月の学習懇談会・・・・・・・・6

学生研修旅行・・・・・・・・・・7

事務室からのお知らせ・・・・・・・・8

事務室窓口

火曜日～日曜日
9時30分～12時
13時～17時30分

閉所日 月曜日、祝日

3月	23日* 28日～30日*
4月	13日* 30日

* 8 ページ 臨時閉所日をご参照下さい。

図書・視聴学習室
火曜日～日曜日
9時30分～17時30分



京都学習センターウェブサイト

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/kyoto/>



特別講義



特別講義

- 1回完結型の講義です。
受講しても単位の修得にはなりません。
- 応募者多数の場合は、抽選となります。
- 京都学習センター所属の在学生（休学中を除く）が
受講対象者です。
- 開催方法は教員によって異なります。

申込受付

1月7日から
受付開始

講義ごとに申し込みをしてください。

対面式：京都学習センターの講義室等で受講する方式です。
Web式：自宅で受講する方式です。



抽選結果は、講義開催日の1週間前に[放送大学キャンパスメール](#)に連絡します。

2/27 (木)

10:15～11:45

対面式 10名

球体イメージングワーク体
(*講義ではなく体験授業です)

申込締切：2月12日(水)



倉西 宏 先生

人には、何もないところに何かをあるとイメージして捉える力がある。その内容は、時には現実よりもリアリティを伴い、現実よりも実体を持つ場合もある。それと同時に、はかなく消えて自身の意識においては残らない場合もある。今回は球体をイメージによって生み出し、参加者で共有をするワークを行います。生み出された球体は自己を象徴的に表してくれるように思えます。難しくもなく、どなたでもご参加でき体験可能ですので、関心ある方は是非ご参加下さい。



<https://x.gd/tGBek>

3/4 (火)

13:30～15:00

対面式 30名

京の辻と魔界

申込締切：2月17日(月)



八木 透 先生

京都には「辻」という地名がたくさん存在します。それらは生と死の境界であったり、また百鬼夜行が出現するような場所であったり、とにかく不思議な非日常空間です。これらの辻の民俗的背景について考えてみたいと思います。



<https://x.gd/p9A2y>

3/5 (水)

13:30～15:00

対面式 30名

四国の牛鬼

申込締切：2月18日（火）



片岡 樹 先生

牛鬼とは、愛媛県の祭礼における神輿に付随した練り物として知られている。本講義では、次の二つの点から、そもそも牛鬼とは何かについて考えたい。第一には、練り物としての牛鬼には何が求められているのかという点を考えてみる。牛鬼は一般には神輿行列の露払い役だと言われているが、祭礼にはそれだけでは説明できない場面も多い。第二に、牛鬼をその周辺の伝説群との関係でとらえてみる。牛鬼伝説は一般には妖怪伝説に含まれるが、牛鬼には妖怪伝にとどまらない役割を期待される場合もある。以上二点から、我々にとって牛鬼とは何なのかについて、その座標軸を考えたい。



<https://x.gd/BQKfB>

3/18 (火)

10:15～11:45

対面式 30名

芥川龍之介の文学

申込締切：3月3日（月）



瀬崎 圭二 先生

芥川龍之介は、芸術的で技巧的な短編小説を多く残しました。古典文学作品を土台にして近代的な小説を書いたことはよく知られていますし、晩年は「詩的精神」を具現化するような小説表現を試みました。その死の際に残した「ぼんやりした不安」という言葉もよく知られるところです。現在では芥川賞という文学賞によってその名が残されていますので、名前を聞いたことがない人はいないでしょう。本講義では、その芥川の生涯と文学の概要をお話します。本講義が、芥川に関心を持っていただくきっかけとなれば幸いです。



<https://x.gd/52ftM>

3/19 (水)

13:30～15:00

対面式 30名

アフガニスタン － これまでと現在

申込締切：3月4日（火）



嶋田 晴行 先生

世界で続く多くの紛争の影に隠れた感があるアフガニスタンですが、2021年8月のタリバンの復権以降さまざまな動きを見せています。アメリカをはじめタリバン政府を正式承認した国はまだありませんが、国内では実質的に行政を担い、外交的には中国やロシアとの関係も深めています。今回はこれまでの経緯を踏まえて、アフガニスタンの今についてお話します。



<https://x.gd/s54E4>

3/29 (土)

15:30~17:00

対面式 30名

人間にとって環境とは？

申込締切：3月14日（金）



吉岡 崇仁 先生

環境は、人間の命・生活のために欠くことのできないものです。しかし、現在、人間の活動によって、環境が痛めつけられ、劣化して、人間の生存に影響を及ぼしつつあります。公害問題から地球環境問題へと規模も複雑さも桁違いに広がってきた課題に対処するために、今一度、環境とはどういうものであるのかについて、考える必要があるのではないのでしょうか。哲学者である三木清や桑子敏雄らは、その著作の中で、環境や風景についてさまざまな形で考察しています。それらを手がかりとして、人間にとって環境とはどういうものなのか、その意味について考えてみたいと思います。



<https://x.gd/pjLR9>

4/2 (水)

15:30~17:00

対面式 30名

インドネシアの植生は 増えている？

申込締切：3月18日（火）



古澤 拓郎 先生

熱帯雨林の減少など、植生減少は世界的な問題であり、熱帯アジアの大国インドネシアもその焦点の一つです。しかし、大量の人工衛星画像の解析と、フィールドワークから、インドネシア全体では植生が増えていることが明らかになりました。プランテーションの増加、人口の都市集中、国の環境保護政策などの紹介とともに、人工衛星画像解析について説明します。



<https://x.gd/x2ph>

4/18 (金)

13:30~15:00

対面式 30名

京都の伝統工芸

申込締切：4月3日（木）



村山 弘太郎 先生

京都の伝統は、京都文化の重要な構成要素である。この講義では、それら京都の伝統工芸の概要を確認し、縮小しつつある中でどのような取り組みを行うべきなのかを検討する。



<https://x.gd/R2Yrs>

特別講義への申込方法

Web申込

Googleフォーム



講義ごとのURLまたはQRコードから申し込んでください。

申込締切日を過ぎると、Googleフォームにアクセスすることができなくなりますので、ご注意ください。

- Googleフォームから送信した後に受付完了メールが届きますので、必ず確認してください。
- 抽選結果は、放送大学キャンパスメールに送ります。記載内容に従って受講してください。
- 当日、学生証をお持ちください。



当日ご都合が悪くなった場合は、事前にご連絡ください。
無断欠席が続く場合、受講をご遠慮いただく場合があります。

Googleフォームからの申込方法がご不明な方は、
京都学習センターまでお問い合わせください。

電話番号：075-371-3001

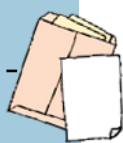
面接授業



2025-1 面接授業

事前文書

各開講初日の
1～2週間前に到着予定



座席番号が記載された出席票を同封しています。

出席票は、授業当日に受付で回収します。
事前に記入を済ませておいてください。

受講が決定した学生には、システムWAKABAに登録されている住所へ事前文書を送付します。
講師からの連絡事項や受講上の注意点などが記載されていますので、必ず中身を確認してください。
さらに、学習センター以外の場所で行われる科目には学生教育研究災害傷害保険加入のご案内を、
BYOD科目にはPCの持ち込みについてのご案内を、それぞれ同封します。
座席は指定となっていますので、文書内に記載されている番号の席に着席してください。

2025年度1学期の面接授業科目追加登録については、4月に発行予定の『ゆりかもめ』第125号
に詳しい内容を記載しますので、そちらをご確認ください。
また、追加登録は原則Googleフォームでの申請となりますので、ご注意ください。

学習懇談会



学習相談一覧

- 京都学習センター客員教員に修学上の悩みや学習内容について質問や相談をすることができます。
- 予約当日は、実施方法に関わらず開始時刻までに京都学習センターへお越しください。

予約優先制

電話での予約申込



1人15分間です。

当日空席がある場合は、
予約無しでも参加可能です。

※ディスカッション形式の場合、
15分間の制限はありません。
※当日空席がある場合、1回限り延長可能。

予約電話番号：075-371-3001



対

教員と対面で行う方式です。

★：複数人で行うディスカッション形式です。

W

学習センターの部屋に置かれた
PCの画面越しに行う方式です。



かたおか たつき

片岡 樹 先生

2月 7日(金)15:30~17:00

3月 5日(水)15:30~17:00

4月 4日(金)15:30~17:00

対

★

文化人類学、東南アジア研究



くらし ひろし

倉西 宏 先生

2月 25日(火)13:30~15:00

3月 6日(木)10:15~11:45

4月 なし

対

★

W

臨床心理学



さいとう さとる

齊藤 智 先生

2月 19日(水)10:15~11:45

3月 12日(水)10:15~11:45

4月 なし

W

認知心理学



しまだ はるゆき

嶋田 晴行 先生

2月 4日(火)10:15~11:45

3月 11日(火)13:30~15:00

4月 2日(水)13:30~15:00

W

国際協力・開発経済



せざき けいじ

瀬崎 圭二 先生

2月 18日(火)10:15~11:45

3月 11日(火)10:15~11:45

4月 11日(金)10:15~11:45

W

日本近現代文学



つきうら たかし

月浦 崇 先生

2月 22日(土)13:30~15:00

3月 8日(土)13:30~15:00

4月 なし

W

認知神経科学



ふるさわ たくろう

古澤 拓郎 先生

2月 4日(火)13:30~15:00

3月 5日(水)10:15~11:45

4月 2日(水)10:15~11:45

W

人類生態学
東南アジア・オセアニア地域研究



むらやま こうたろう

村山 弘太郎 先生

2月 21日(金)10:15~11:45

3月 21日(金)10:15~11:45

4月 18日(金)10:15~11:45

W

対

日本近世史、民俗学



やぎ とおる

八木 透 先生

中止

~~2月 17日(水)15:30~17:00~~

3月 4日(火)10:15~11:45

4月 なし

W

対

民俗学、東アジアの家族史



よしおか たかひと

吉岡 崇仁 先生

2月 22日(土)10:15~11:45

3月 29日(土)13:30~15:00

4月 なし

対

生物地球化学

学生研修旅行

バスで行く歴史探訪

～大阪叡福寺と奈良當麻寺を巡る
写仏と精進料理体験～



叡福寺 境内より



當麻寺 中之坊にて写仏

2024
10/19



小雨模様だったけど、予定どおりの時刻進行にビックリ。準備も完璧、大変お世話になりました。大阪の叡福寺は初めて、太子信仰の中核とのこと。奈良の當麻寺には幾度も出掛けているけれど、中に入って精進料理と写仏体験はこれも初めて。特に写仏は難しかった。小さな丸を筆で描くのは至難の業。道中のバスの中では、みなさんが勉強方法や科目、面接授業について話し合っている声をそこかしこに聞けて、さすが放送大学と思いました。でも、ペンケースが抽選で当たらなかったのが心残りです。

(田中 賢作さん)

久しぶりのバスの研修旅行。聖徳太子で有名な叡福寺、曼陀羅で有名な當麻寺、どちらも初めての訪問。住職のお話、拝観、何年振りかの筆を持ち墨の香りの中で写仏も初体験。キンモクセイの香りに包まれた境内を後にし帰路途中の道の駅かつらぎで地元祭りのみこしに出会い囃子に元気をもらった楽しい一日でした。感謝 (H.Kさん)

快晴とは言い難く雨に降られなければいいなと思いつつ始まったバスの旅でしたが、参加者の行いがいいのか、途中では雨が降っていても降りたらやむか小雨で傘もささずに歩けることが多く、そんな天気でもバスならではの移動が楽で良かったです。訪れた両寺院とも住職のお話がわかりやすく、勉強になりました。初めて会う方ばかりなのに和気あいあいと過ごせたのも、同じ向学心をもつ放大的仲間ならこそ？ また機会があれば参加したいです。

(まさちゃん母さん)

初めてのバスでの研修旅行でした。道路もお寺も混雑してなくてゆったり楽しめました。雨が少し降ったりもしましたが、なかなか自分では行かないような所で楽しめました。写仏は思ったより難しく終わるのが最後になってしまい焦りました。いい経験ができました。有難う御座いました。

(ルイちゃんさん)

家族が受験で、今年の祇園祭では知恵を授けて頂こうと、太子山の粽を求めました。その聖徳太子の御廟が大阪の叡福寺にあるとは知りませんでした。叡福寺を参拝出来た事で、願いが叶えばと思います。當麻寺では、初めて写仏を体験しました。當麻曼荼羅には、9段階の極楽浄土が描かれており、我家は浄土宗でホッとしました。

(匿名さん)

以前から行きたいと思いつつ今まで行けてなかった、マザコン(?) (一母とも同じ墓なので) 聖徳太子の墓所がある叡福寺と中将姫伝説の古刹當麻寺の両方へ行けるとあって締切ギリギリで申し込んで当選し、満足一杯の一日でした。目的地の事前予習もバッチリで参加しました。もともと大分センターの宇佐八幡の面接授業を申し込んでいたのが落選し、日程が空いたのがきっかけでしたが災い転じて福となりました。はじめての研修旅行参加でしたが、また参加したいです。

(西田 伸也さん)

大変お世話になりました。叡福寺では古代の寺院の歴史に改めて感動しました。聖徳太子のゆかりの寺に空海、良忍上人、親鸞聖人もまつられていて、太子信仰が深く感じられました。當麻寺では写仏体験に心が清められたと思います。庭園では金木犀、芙蓉、コスモスなど沢山の花がありました。陀羅尼助が作られた古いかまども拝見しました。大変充実した一日でした。

(Y.Tさん)

今回の研修旅行は初めての参加でした。最初の叡福寺は河内に有る太子信仰のお寺と云う事で京都の寺と違っておもしろさを感じました。次の當麻寺での写仏は初めての体験で貴重な時間を過ごす事が出来又、最後のぎりぎりの時間で見た金堂弥勒佛は圧巻。参加者みんなでとった昼食も行き帰りのバスの中でもわき相合又、参加したいです。

(INARIYAMAさん)

行ったことのない寺社に行け、説明をお聞きし見学させていただくことで、その歴史などにも触れることができました。また、写仏という経験のなかったことも体験させていただき、集中と心の静寂みたいな時間を感じることができました。天気には恵まれませんでした。いろいろな方と大学のことやそれ以外のことなど色々お話できて、大変有意義な一日になりました。お世話してくださった職員の方は本当に大変だったと思います。ありがとうございます。

(ミーさん)

天気が危ぶまれる中での出発となりました。まず「叡福寺」金堂の拝観では太子の“和の精神”が世界に広まるのを願うばかりです。次に「當麻寺」での昼食後、期待の写仏体験です。おもむろに始めたものの、手順の注意項目に「気持ちが乗った時は仏様と別行動かも」と有り、すでに遅し凡庸な私は早や心が飛んでおりました。その後、雨で露を帯びた庭園の花々は秘めやかな美しさに思えました。最終の「道の駅」で意外な祭りの衆と音頭の賑わいに遭遇し、何とも楽しい帰路でした。

(大坪 供子さん)

入学後初めての大学イベントで緊張して参りましたが、結果、学びだけでなく、人との交流も楽しい研修となりました。叡福寺では予想以上に御廟所の荘厳さに感激致しました。當麻寺では曼荼羅の分かり易いご説明をいただき、受講中のテキストにある文言を絵で見ることができて嬉しかったです。初体験の写仏も夢中で楽しみました。また、帰り道には道の駅に寄っていただき、美味しいお土産も調達出来ましたので、盛りだくさん1日となりました。企画、ご準備下さったスタッフの皆さまに感謝申し上げます。

(のりさん)

雨が心配されましたが、うまく見学場所では雨が止み楽しい研修旅行でした。聖徳太子さんの御廟叡福寺でお香の漂う中での住職さんのお話は心に届きました。続いた當麻寺では住職さんの絵解きをありがたく拝聴した後、楽しみの初体験の写仏。これが思っていたより難関でした。線が真っ直ぐ走らず散々な仁王様になり納めることもできずそっと持ち帰りました。帰路立ち寄った道の駅で思いもかけず、秋祭りの日だったのでお神輿さんに遭遇。なんと、お神輿から歌声が流れ演歌ほいのでビックリして拝見しました。あれやこれやの1日でした。とても楽しく参加させてもらいました。担当者の方々お疲れ様でした。

(M山本さん)

・今回のように歩くだけでなく、体験型のものは良いと思う。
・高齢の方が少なくないので、どれくらい歩くか階段が多いか、膝を折って座ることがあるか、椅子の用意はあるか、など案内に書いてあることが必要。
・支払い方法が限定的で不便。柔軟な対応・姿勢が必要。

(匿名さん)

事務室からのお知らせ



京都学習センター

第3回 公開講演会 開催のお知らせ

参加費無料で、学生以外の方でもお申込できます。
ご家族やご友人をお誘いのうえ、ぜひご参加ください。

太平洋の島々のヒトとくらし

日本は太平洋にある島国ですが、同じ太平洋にある他の島々について、どれくらいご存知でしょうか？独立国と保護領を合わせると40もの国・地域があり、1000を超える言語があります。森林豊かな島やサンゴ礁に囲まれた島などに、さまざまな文化と身体的特徴を持つ人々が暮らしています。海面上昇や新しい冷戦によって関心が高まるこれらの島々について、この講演会を通して知っていただければと思います。



講師

放送大学京都学習センター 客員教員
京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 教授

古澤 拓郎 氏

Takuro Furusawa

ソロモン諸島でのフィールドワークを皮きりに東南アジアとオセアニアの島々で、環境と健康に関する調査を行ってきました。熱帯雨林をたくみに利用して生活をする人々や、最近では地球温暖化の影響を受けた島の人々の健康などを研究しています。島々を訪れると、世界にはさまざまな文化や身体的な特徴があることに、改めて感動します。

2025年1月18日(土)

15:00~17:00 (受付開始14:30)

会場: キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室 定員: 250名

申込方法 ①~③のいずれかの方法でお申込みください。

①申込フォーム



<https://x.gd/KgtL1>

②メール

kyotosc.lecture@gmail.com 075-371-3033

③FAX

※②③の場合は、以下3点をご記入ください。

- ・第3回公開講演会受講希望
- ・氏名(ふりがな)
- ・連絡先電話番号(faxの場合は、fax番号も記載)



臨時閉所日

ウェブサイトでも
お知らせします。



3月23日(日) 学位記授与式

4月13日(日) 入学者の集い(予定)

図書・視聴学習室は終日閉室、事務室は午後から閉所します。

3月28日(金)~30日(日) 新学期準備

図書・視聴学習室は終日閉室、事務室は通常通りです。

4月30日(水) 臨時閉所日